

### 取扱暗号資産の概要説明書（ビットコインキャッシュ）

一般社団法人日本暗号資産等取引業協会（JVCEA）が公表する「取扱暗号資産の概要説明書」を基に作成しています。  
情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

概要書更新年月日	2024年12月3日
暗号資産の名称	ビットコインキャッシュ
ティッカーコード（シンボル）	BCH、BCC
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	ハッシュ関数（SHA-256、RIPEMD-160）、楕円曲線公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録。
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム（分散台帳内の二重取引を排除するための合意形成方式）の一つであり、そのときのナンスのターゲット以下のブロックハッシュであるブロックを各自のノードが任意に取り込み、最も計算量の多いチェーンを正当と
保有・移転記録の最低単位	1 satoshi（= 0.00000001 BCH）
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能数	20,999,999.9769 BCH
価値移転認証の仕組み	トランザクションの形式と多重支払いをしていないかのチェック、ブロックの形式と最も大きな作業証明(Proof of Work)を持つチェーンを確認している。後続のブロックが連なるに従って、チェーンが覆る確率が低くなっていき覆すのが難しくなる仕組みである。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンソース・ネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）を用い、難易度の高い作業証明の蓄積されたチェーンが選択されることがコンセンサスアルゴリズムによって規定されており、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保している。